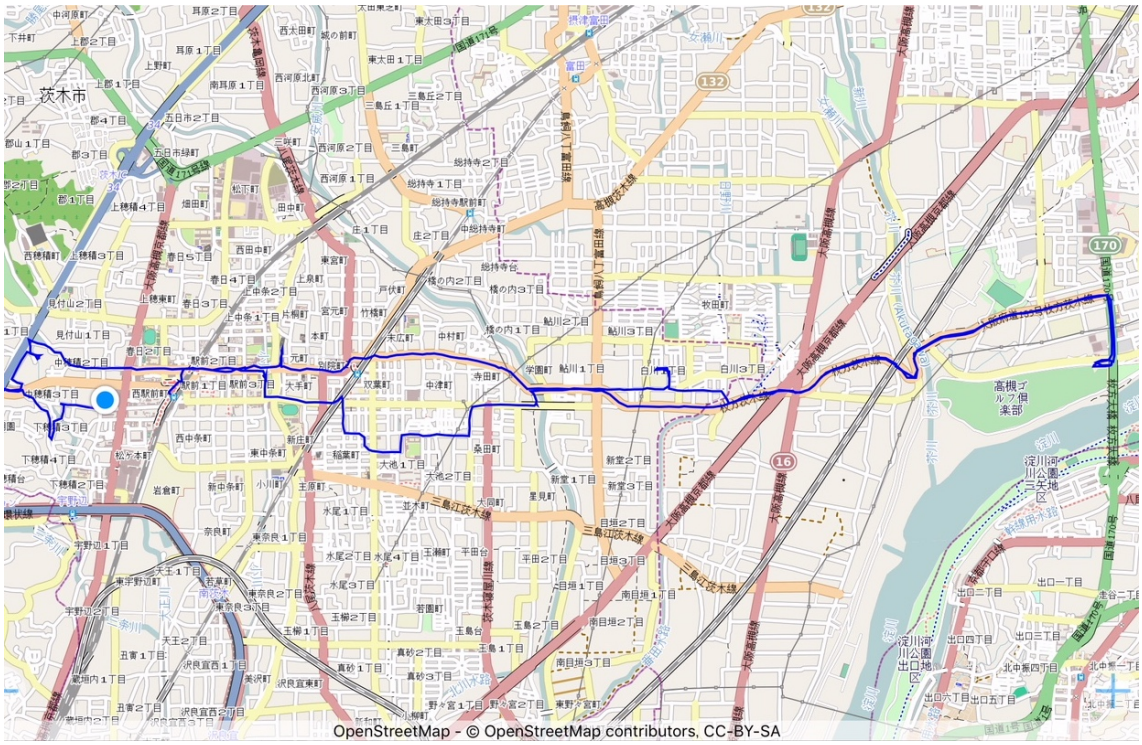
2018 年 6 月 18 日に発生した大阪府北部の地震に関する被害状況について（速報）

2018 年 6 月 18 日
京都大学防災研究所
後藤浩之

1. 概要

2018 年 6 月 18 日に大阪府北部で発生した地震は，大阪府北部の自治体を中心に震度 6 弱の揺れを観測した．具体的な地震動の特性については現在分析中であるが，震源域周辺の状況について速報として状況を整理し，報告することにも意義があると考え，この資料を用意した．このため確認した範囲のみの状況報告であり，現地の状況を網羅的に整理したものではないことを断っておく．

2018 年 6 月 18 日の昼過ぎより下記のルートにて状況を確認した．茨木市南部を東西に横断するように，JR 茨木駅の西側（名神高速道路付近）から高槻市の枚方大橋までの範囲である．



2. 茨木市の状況

茨木市の危機管理課に伺った話によると，市内の状況についてまだ完全に把握していないことが現状であるとしながらも，喫緊の課題が市内で発生している断水への対応であるとのことであった．広域水道から配水を受けている地域は，枚方での送水管の被害によって断水しているため，市内の別の配水池からの配水を実施する方針であること，ならびに現在はその作業にあたっているとのことであった．

2.1. JR 茨木駅西側

瓦屋根の被害（写真 1）が複数の家屋に見られる．大きな構造物被害は見られないが，中穂積地域の墓地では転倒率 20%ほどの状況であり，転倒していないものでも時計回りに竿石が回転した様子が確認された（写真 2-3）．また，名神高速道路の跨道橋（エキスポロード／茨木停車場線）を目視にて確認したが，特に目立った損傷は見られない様子である（写真 4-5）．またこの地域では，ショールームのガラス破損等の被害も確認されている．

写真 1 瓦屋根被害の一例

写真 2-3 中穂積地域の墓地被害

写真 4-5 名神高速道路　橋脚の状況

2.2. JR 茨木駅～阪急茨木市駅

市庁舎はいくつかのエキスパンションからなる構造であるが，そのエキスパンションジョイントで相対変位が発生したことをうかがわせるような状態であったことが確認された（写真 6，写真 7）．強震時には，構造部材の損傷を避けるためにエキスパンションジョイントで相対変位が発生するように設計されるものであるため，この状況自体が問題であるわけではない．

茨木神社では石灯籠の上部が落下，または明瞭に時計回りに回転したものが多く見られた（写真 8-9）．このようなサイズの石灯籠の被害は，確認した範囲では他にあまり認められない．

なお，この地域にある茨木市消防署には茨木市東中条の震度計（震度 6 弱）が設置されている．茨木市庁舎や茨木神社はこの近辺に位置する．

写真 6-7 茨木市庁舎のエキスパンションジョイントの状況

写真 8-9 茨木神社境内の石灯篭の被害状況

2.3 阪急茨木駅～安威川

網羅的に調査できていないが，この範囲においても屋根瓦の損傷が複数の家屋で見られ（写真 10），非構造部材である外壁の損傷も確認された（写真 11）．また，倒壊したと思わ

れる門柱の撤去作業が進められていた（写真 12）．なお複数の報道であるように，阪急茨木市駅では電光掲示板の損傷があったようである．

写真 11 瓦屋根の被害

写真 12 外壁の被害

写真 13 門柱の撤去作業

2.4 安威川～淀川右岸

安威川より東側では外見上明瞭な被害は見られなくなる．確認した範囲では，新幹線高架橋にも損傷があったようには見られない（写真 14）．安威川にかかる橋梁や枚方大橋については，いずれも確認した限り損傷は見られなかった（写真 15，写真 16）．

また，枚方大橋の下流側（南側）にある水管橋について状況を確認したが，特に作業をしている様子や被害の状況も伺えなかった（写真 17，写真 18）（報道された漏水被害は左岸側？）．

なお，この地域には関西地震観測研究協議会の茨木白川観測点（白川小学校）が位置する（計測震度 5.8，南北最大速度 38cm/s）．

写真 14 東海道新幹線の高架橋の状況

写真 15 安威川にかかる橋梁の右岸側支承

写真 16 枚方大橋右岸側支承の状況

写真 17-18 枚方大橋の下流側（南側）にある水管橋

3. 現時点のまとめ

上述したように，地域地域で複数の被害が生じているが，被害の状況は東側に行くにつれて程度が軽くなる傾向にあると思われる．西側（吹田市側）や南北方向（高槻～摂津）の傾向を確認していないため，全体としてどのような位置づけであるか不明である．しかし，少なくとも地盤増幅度の傾向とは合致しないように見られるため，作用（地震動）側は震源／伝播経路の影響等も含めて総合的な理解を進める必要があると考えられる．

本地震で被害に遭われた皆様に少しでも早い復旧と安心／安全が得られることを願っておりますし，微力ながら協力をして行く所存です．引き続き調査／分析を進めて参ります．